

議会だより もろっか

平成30年11月

平成30年 第159号

編集 議会広報編集特別委員会
発行 諸塚村議会



もくじ

| | |
|----------------|-----|
| 平成30年度一般会計補正予算 | 2 |
| 平成29年度一般会計決算認定 | 3 |
| 一般質問 | 4~5 |
| 歳入歳出決算に対する質疑応答 | 6~7 |
| 所管事務調査報告 | 8~9 |
| 議会活動報告 | 10 |

平成29年度一般会計決算認定

平成30年第3回定例会

歳入額 **36億7100万円**

歳出額 **34億9089万円**

| 議会費 | 総務費 | 民生費 | 衛生費 | 農林水産費 | 商工費 |
|---|---|---|---|--|---|
|  |  |  |  |  |  |
| 4570万円 | 5億8163万円 | 4億4706万円 | 2億9439万円 | 5億7472万円 | 8016万円 |

| ★ 特別会計 ★ | |
|---------------|------------------|
| 会計名 | 決算額 |
| 国民健康保険 | 3億6076万円 |
| 後期高齢者医療 | 2778万円 |
| 介護保険事業 | 2億6240万円 |
| 簡易水道事業 | 3554万円 |
| 公共下水道事業 | 1334万円 |
| 診療所事業 | 3億4272万円 |
| 発電事業 | 35万円 |
| 特別会計合計 | 10億4289万円 |

| 土木費 | 消防費 | 教育費 |
|---|--|---|
|  |  |  |
| 3億4365万円 | 2億1084万円 | 2億1365万円 |

| 災害復旧費 | 公債費 |
|--|---|
|  |  |
| 3億7030万円 | 3億2878万円 |

総括意見

日本列島は、度重なる自然災害で国民の生活が大きく揺らいている。東アジア情勢は、中国の軍力が増強され、北朝鮮では非核化に向けての動きはあるものの先行きは不透明である。そのような状況下、本村の平成29年度一般会計決算では、歳入36億7,100万円で前年対比6,300万円、1.7%の減、歳出34億9,100万円で4,800万円、1.4%減額となった。地方交付税が、1億5,100万円と大きく減額されたことが要因となっている。

主な事業としては、防災無線デジタル化改修事業、福祉館の耐震補強改修や災害復旧費、林道や道路の開設維持補修など、村民の安心安全のために支出されている。また、平成29年には、診療所に定着医師1名増となり、村民の健康を守るための充実した体制が整った。

本村の財政は自主財源18%、依存財源82%であり、国、県等から割り当てられた財源に頼る厳しい財政運営と言える。

今後、交付税や補助金が減額の傾向にある中で、村民の暮らしを豊かにするには、これまで以上に行財政改革が重要である。



決算審査特別委員会の様子

個別意見

1. 人口減少対策への取り組み
2. 自然災害への事前対策の徹底
3. 社会教育と高齢者福祉の充実

第3回定例議会 平成30年度一般会計補正予算

補正額：3億1600万円

合計**34億1100万円**

◆一般会計の主な補正内容◆

(単位)万円

| | |
|------|---|
| 「企画」 | ・電気自動車充電スタンド整備事業……………285万円 ・魅力ある観光地づくり推進支援事業 (池ノ窪公衆トイレ改修、村内観光案内板補修等)……………272万円 |
| 「住民」 | ・諸塚村介護職員等緊急確保特別対策事業……………50万円 |
| 「産業」 | ・柳の越園芸団地加圧ポンプ修繕……………203万円 ・小水力発電等農村地域導入支援事業 (柳の越及び井戸園芸団地太陽光発電整備事業)……………4,950万円 |
| 「建設」 | ・林道開設改良村単独事業……………390万円 ・道路新設改良村単独事業……………3,208万円 ・道路維持事業……………2,940万円 ・村有住宅改修事業……………2,130万円 ・林業施設災害復旧事業……………6,269万円 ・耕地災害復旧事業……………1,185万円 ・土木施設災害復旧事業……………8,748万円 |
| 「教委」 | ・村内各小学校空調施設設計委託事業……………310万円 |

◆特別会計の主な補正内容◆

| | |
|-----------|--|
| 「国保」 | ・基金積立金……………1,061万円 ・諸支出金……………2,097万円 ・予備費……………65万円 |
| 「後期高齢者医療」 | ・総務費……………133万円 ・予備費……………159万円 |
| 「介護保険」 | ・諸支出金……………723万円 |
| 「簡易水道」 | ・衛生費……………30万円 |
| 「公共下水道」 | ・衛生費……………206万円 |
| 「診療所」 | ・総務費……………500万円 ・予備費……………500万円 |
| 「発電」 | ・総務費……………177万円 ・予備費……………▲98万円 |

◆条例の制定等◆

- 「総務課」 ・ 諸塚村個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定
- 「建設課」 ・ 諸塚村使用料及び手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定
- 「総務課」 ・ 財産の取得



池ノ窪ログハウス



柳の越園芸団地

一般質問

今回4名の議員が質問をしました。

①諸塚村木質バイオマス発電事業検討委員会について



中田 政雄 議員

問 今年2月23日に設立された諸塚村バイオマス発電事業検討委員会が開催されていないようであるが、その理由と今後の取組み、スケジュールや予算について

西川村長

答 委員会の開催はできていないところである。稼働事例や同様な自治体からの情報収集や庁内事務レベルで事業の進め方について随時協議を進めてきた。9月3日に二回目の庁内会議

で視察や研修の報告と今後の進め方について協議をしたが、情報収集や調査研究が不足していると考える。事業としてはエネルギーの活用方法、売電の協議、関連法案の熟知、事業か所の選定など多くの課題があり、期間としては二年半ぐらいで、予算については補助金を活用しながら進めていきたい。

中田議員

問 F-I-Tと呼ばれる再生エネルギーの固定買い取り価格の見直しや他の多くの事業者や自治体の参入等を考えると、スピード感を持って進めるべきと考えるのだが？

西川村長

答 スピード感を持って行うつもりだが、とにかく

一番の段階のプロジェクトチームを立ち上げて庁内会議として検討委員会で行うんだという物が見える形に持っていきたい。

中田議員

問 発電事業検討委員会の構成委員の中に産学官の中の学という面での人選をしてみてもと思うが。

西川村長

答 庁内会議でも、バイオマスの仕上げ関係に詳しい学者さんや専門性を持った先生に入っていたらいい意見も出たところである。



西川 健 村長

①次期村長選挙について



梅田 義輝 議員

梅田議員

問 来年4月に予定されている統一地方選挙、諸塚村村長選挙について、立候補の意思を含めて、現時点でどのようなお考えか。

西川村長

答 人口減少という最大の難局の緩和策や、今、検討、研究に入っている中央公民館改築、先ほどから出たバイオマス発電などの道筋をつけること、座談会などでの多くの要望事項の迅速な対応等が私に与えられた役割かと思っている。人口減少の中、どのような施策で村を持続させてい

くかが大きなテーマとなるが、今まで御理解、御支援賜った方々の意見、また、御叱責の面も含めて賜り、肌で感じながら、継続して林業立村の村づくりに取り組んでいきたいという思いでいる。

②林業問題について

梅田議員

問 拡大造林時代の資源が育ったことや機械化が進んだことなどから急激に伐採量が増えたため、再造林がおくれ、事業者などの収益の格差や労働者の労働対価など、極めてバランスが悪いのが現状である。

今後、本村の循環型林業を確立するためには、自伐林家、森林組合、ウッドピア諸塚、事業者のバランスのとれた林業が大切と思う

①畜産センターの牛糞処理について



堀 英博 議員

堀議員

問 畜産センターのふん尿処理の現状は、牛の飼養管理に追われ、堆肥づくりの作業が遅れ未熟堆肥となつて引き合いが減少し、管理施設内に蓄積されてきた。

家畜排せつ物法では、ふん尿処理は飼養頭数により

が、どのように考えるか。
西川村長
答 森林整備に対して国県事業への上乗せや単独事業などと、他の市町村以上の施策をとってきたと思う。今回の森林環境譲与税の活用についても独自の施策が求められているが、現在の情報では、考えていた

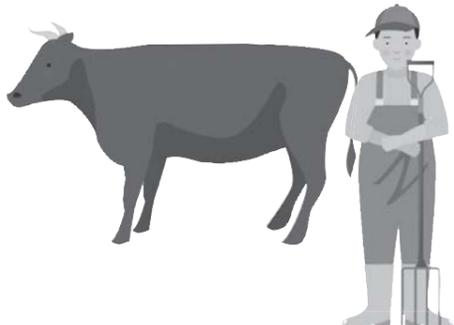
ものより使いにくいような説明を受けている。まだ状況は変わっていく様相があるので、他の森林整備事業も含め、国・県への要望を他の自治体、議会、村とも一緒に進めていく必要があると考えている。

規制されているが、センターだけでなく、畜産農家全体の問題として対策を考えなければならぬと思うが、村長の考えを。

西川村長

答 人員不足による堆肥づくりの切り返し作業の遅れも確認している。畜産センターの堆肥販売実績も減少している。家畜排せつ物法については、管理基準適用内ということと適切に管理していきたい。関係機関と連携していきたいと思う。

堀議員
問 畜産農家が村内24戸、飼養頭数が約180頭。管理舎の建設、堆肥供給センターは考えられないか。
西川村長
答 理想的な処理は、中心に集積所を置き堆肥の管理をする必要がある。施設や用地の問題もあり、難しいと思うが、スピード感を持って当たっていくべきと考えている。



①諸塚村での6次産業化対策について



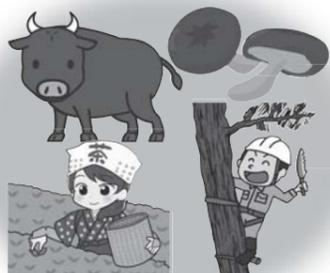
岩本 國和 議員

岩本議員

問 諸塚村は、先人たちの努力により、林業、シイタケ、畜産、茶の4大産業を確立して、村の経済の柱となっている。最近では、高冷地の園芸作物にも力を入れ、物をつくる技術、生産力は各段に伸びている。価格は一時の低迷期を脱出はしているが、品質によって大きな開きがある。

そこで、6次産業化に取り組んでみてはどうだろうか。作物のままではなく、調理、加工、パッケージして販売できるので、市場への価格に左右されることがなく安定した収入が得られ、働き場の確保にもつながる。

西川村長
答 6次産業化の鍵は販売面であり、販売現場の情報を加味した売れる商品の開発、製造体制づくりが重要である。一定量の生産量と安定した販路を両立させる必要があるなど課題はある。今後とも諸塚の特産品生産の特色である、安心安全な生産者の顔の見える生産体制のメリットを生かした、販売と製造の連携による6次産業化の努力を進めていきたいと考えている。



(質疑)

⑦中央公民館の駐車場について

検討会を立ち上げて検討するということだが、どうなっているのか。

答弁

施設的内容的なものを固めて、プロポーザルにかける。今までは建物だけについて検討してきたが、駐車場部分の立体駐車場のなことも含めて、今年度中に基本設計を作り上げる。

(質疑)

⑧中央公民館の改修について

小中学校の児童数が減る中で、今後、統廃合はないのかということ念頭に中央公民館の改修を検討してもらいたい。

答弁

保護者、地域の人たちがしっかり話をさせていただいて合意を得てからでないと、やはり強制的に合併するというのは無理かなと考えている。今後の統廃合に伴う、中央公民館の位置とかはもう以前から考えている。将来はどうか見込みながら、大型プロジェクトを進めていくということは認識している。

(質疑)

⑨エリートツリーについて

熊本の樹木種苗センターに行ってエリートツリーを見てきた。成長の早い樹木で、今後、労働力不足になって下刈り等の森林整備に影響が出てくるような場合は、このような樹種を取り入れながら、諸塚村も生かしていく必要があるのではないか。

答弁

この導入について、適地適木の問題もあるということだが、その必要性はあると考える。今後、産業課、森林組合あたりと相談しながら進めたい。

(質疑)

⑩大規模伐採について

林道が壊れ、山が崩壊して川の方まで土砂が流れ込んで飲料水が濁った。住民の生活に影響が出るようなことが起きれば、行政としても対策をしていただきたい。

答弁

大規模伐採による災害関係が大きな問題になっている。事業体へ文書で注意を促しているところである。

(質疑)

⑪交付税の減額について

本村の財政現状の評価についてお伺いする。

答弁

諸塚村が合併の協議を行っている時期に一

そこが聞きたい

番交付税が減少した。その頃の起債償還は、年間7億5、6千万円であったが、今は、年間3億円ぐらいになった。基金は、全てのことを国に報告する義務があり、国も、余裕がある自治体とみれば、交付税を減額しているのではないかと考えている。今、財政指数も非常に良くなっているところも、ここは余裕があるのではないかと見られているのではないかと思う。

(質疑)

⑫森林組合について

機械の老朽化、全てそういう更新時期に入っており、これまた大きな問題となっているが。

答弁

うちの加工センターの場合、第1工場が大変傷んでおり、今後について検討されているというような話を伺っている。村内にある加工センターを維持するために、村としても一緒になって考えていかなければいけない時期に来ている。

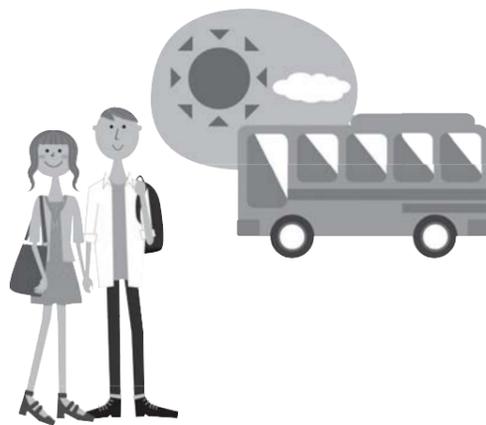
(質疑)

⑬みちゆき推進事業について

- ① みちゆき推進事業のイベント企画委託業務の内容について
- ② 人口減少が幾らかでも解消できるよう民間業者を活用して、今年度予算をある程度つぎ込んで、積極的に展開していただきたい。

答弁

- ① 今年度については、諸塚、椎葉、五ヶ瀬あたりを中心にして一泊二日を1回、バスツアーを1回ということで企画して募集をはじめるところである。今年は早めに年内開催の予定である。
- ② 一人でもカップルができれば、たぶん一年間につき込む予算以上の効果があると思うのでぜひやれる分を積極的に行いたいと思う。



歳入歳出決算に対する質疑応答 (総括質疑)

(質疑)

①くぬぎ地蔵の登録商標について

- ① 民生費の中の補助金40万円、くぬぎ地蔵の登録商標について
- ② 絵馬を作って販売することは、慎重に構えたほうがいいのでは。

答弁

- ① 絵馬の作製を考えている。全国展開をやるということになって、くぬぎ地蔵の商標が、ほかに行かないように権利を早めに商標登録した方がいいのではと思っている。
- ② 絵馬については、前おられた九保大の先生と協力し合って、販売展開につなげていく形になる。

(質疑)

②せせらぎの里のことについて

- ① 次長は、役場からの出向ではないのか、なぜ辞められたのか。
- ② 職員が何人入っても施設の中の環境が整わなかったら、辞める方が出てくるのではないか。
- ③ 職員のメンタルの部分をもどのようにケアしているのか。
- ④ 監視カメラを付けた経緯は？
- ⑤ 入所者ファーストである。今後どのようにやっていくのか。
- ⑥ 公設民営で方向性が見いだせないか。

答弁

- ① 退職して再任用という形で派遣した。本人の一身上の都合という意思を尊重した。
- ② 外の施設の介護職員の状況も、職員の入れ替わりが激しく確保に苦労していると聞く。月の初めとか話をさせていただき、施設長を中心にやってくださいとお願いをしている。
- ③ メンタルのケアをどのようにやっているのかというのは私も分からない。施設長の方で面談をやっていただいていると思う。
- ④ 監視カメラは防犯的な考え方である。
- ⑤ 社協の運営委員会の協議の中で、会合のあり方や福祉、そういったものきちっと理解できた優秀な人材を採用し、人間関係に感情的に介入しないような人たちを入れていこうということで一致した。
- ⑥ ひまわり会あたりにも相談すべき色々な方法を模索している。

そこが聞きたい

(質疑)

③公民館の集会所の改修事業について

改修事業については、国・県の交付金事業と村単独事業での対応、事業の取り組み方は、金額面で判断しているのか。

答弁

国・県事業を使うかどうかについては、金額の面が一番大きなところである。バリアフリー、トイレの水洗化あるいは段差解消については、優先的に対応する意味で村単で対応することが多い。

(質疑)

④災害時の対応について

- ① 災害時の避難場所として公の施設の耐震性の調査、改修計画があるのか。
- ② 避難時の非常食の管理状況はどうなっているのか。

答弁

- ① 耐震診断を実施した建物としていない建物もあり、全てが耐震診断の建物ではない。
- ② 常に300食ぐらいは役場の倉庫に保管している。

(質疑)

⑤マイナンバーカードの普及率について

マイナンバーカードの普及に向けての取組みは

答弁

村内でのメリットは余りない。今の法律からいけば、番号をちゃんと管理しておけばいいということである。

(質疑)

⑥学校教育について

- ① 小学6年生と中学3年生の全国学力テストで、諸塚の子どもたちが県下でトップということで、その要因についてはどのように考えるか。
- ② 学校の施設でブロック塀とか、その他の危険か所の点検は、諸塚では実施したか。

答弁

- ① 小規模であるがゆえにマンツーマンの指導ができています。優秀な先生方が来ていただいている。指導の仕方を学び合い、資質を高め合っている。また、家庭と学校がうまく連携を取っている。
- ② 保護者が危険か所を取りまとめて、学校から教育委員会へ上げてくる。建設課と関係者と一緒に現地を確認している。

所管事務調査報告
総務常任委員会

8月21日の台風19号が明日にも九州上陸か、本県に最接近との天気予報の状況からか時折激しい雨が降る天候の中、荒川保育所から施設訪問を行った。新築工事が間もなく始まる予定で、敷地の造成は既に終わっており、請負業者も決まり、完成予定は来年の2月である。築50年を経過した現在の建物は今まで何度となく改修を行い、園児の安全環境や教育の向上に取り組んできたところではあるが、平成30年度保育所等整備交付金事業により、新築に至ったことは、地域にとっても明るい話題の提供となり、今後が大いに期待される所である。

午後からは、ひまわり保育所を訪問したが、昼寝の時間帯で、またこの日は1人の登園しなくなり、男児1人が気持ちよさそうに寝ていた。それも今年設置されたエアコンの心地良い風がそうさせていたのは、全員が納得したところであった。

最後の諸塚保育所は、昼寝が終わり、寝惚け眼や少し人見知り、元気いっぱい園児など、賑やかというより、大変な様子であった。常時8名と時間帯で3名の保育士、栄養士と調理補助2名の給食係で対応しているとの説明であったが、責任者(所長)を含め、遠距離からの通勤で、台風や雪などが予想されるときには、宿泊での対応も考えているようである。今でも緊急を要する場合は、近くの退職者に頼らざるを得ない状況も聞かされた。



ひまわり保育所



荒川保育所



諸塚保育所



園児の様子

今回は、設備面での早急な改善か所は見いだせなかったが、未来の宝とも言うべき園児の健全な育成と成長、同時に各保育所の存続に向けてさらなる努力の必要性を強く感じた次第である。

所管事務調査報告
産業建設常任委員会

7月19日に村内の道路状況を調査した。今回は都合により七ツ山地区だけの調査となった。

①合鳴水源線線災復旧事業

平成28年6月18日から7月5日の梅雨前線豪雨により、延長63mにわたり被災。工期は平成29年1月26日から平成30年3月27日で、最終契約金額154,933千円で完成していた。



②林道川内片桐線開設工事

全体計画延長3,600mで平成24年度から開設実施、平成30年度においては事業費60,000千円、809mを予定しており累計で2,733mの75.9%が完成予定。片桐橋はすでに平成26年度に起工されており全線開通が待たれる。



③猿渡奥畑線災害

平成30年5月7日に崩壊したが、災害申請の関係で長い期間通行止めとなったが、今後は、災害査定を受けてからの工事となる。



④小原地区排水工事

平成29年9月にコルゲート管が沈下により詰まった。管の土被りが深すぎた。同じ位置に施工できず、別ルートで排水することとした。平成30年4月に発注。

最終工期8月31日、当初請負額12,906千円

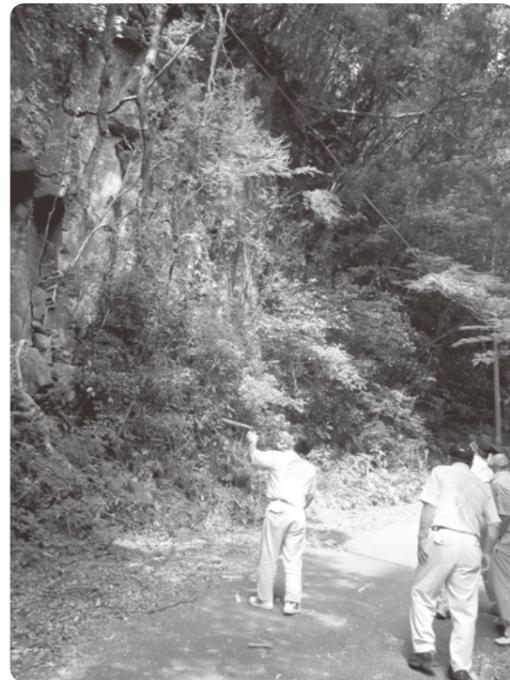
今回の調査は以上であった。村全体を見ても、補助事業などに十分配慮されており、特に林道関係は、村内4か所で開設事業を行っており、雇用の場など村内経済にも十分貢献するものとなっている。説明も分かりやすく有意義な調査であった。

⑤林道専用道小原線開設

全体計画延長3,700m平成29年度繰越予算の工事。7月30日に発注、最終工期平成31年1月16日。全体工事費見込、420,000千円

⑥匹谷星の久保線

平成29年7月に落石あり。



議会活動報告

| 月 | 日 | 行事名 | 場所 |
|----|-----------------|------------------------|-------------|
| 8 | 1 | 九州中央道提言活動(～3日) | 福岡市・東京都 |
| | | 滝の下村政座談会 | 滝 の 下 |
| | 2 | 諸塚村政座談会 | 諸 塚 |
| | 6 | 第1回臨時議会 | 議 場 |
| | 8 | 日向市・東臼杵郡議長連絡会の国県への要望活動 | 延 岡・日 向 市 |
| | 9 | 正副議長研修会・地方行政問題研究会 | 宮 崎 市 |
| | 10 | 入郷地域開発期成同盟会本庁要望活動 | 宮 崎 市 |
| | 20 | 日向市・東臼杵郡議長連絡会の国県への要望活動 | 県 庁 |
| | 21 | 総務常任委員会政務調査 | 村 内 |
| | 24 | 九州中央道建設促進地方大会 | 高 千 穂 町 |
| 30 | 町村議会議長会役員会 | 宮 崎 市 | |
| 9 | 5 | 五月会研修会 | 役 場 |
| | 7 | 民生児童委員との意見交換会 | 中 公 場 |
| | 12 | 第3回定例議会開会(～21日) | 議 場 |
| | 13 | 決算審査特別委員会 | 役 場 |
| | 14 | 〃 | 〃 |
| | 18 | 〃 | 〃 |
| | 20 | 決算審査特別委員会(まとめ) | 〃 |
| 10 | 21 | 第3回定例議会本会議(最終日) | 議 場 |
| | 25 | 連合所管事務調査(～28日) | 岐阜県・富山県・長野県 |
| | 3 | 町村議会議員特別セミナー(～5日) | 滋 賀 県 |
| | 11 | 県議長会臨時総会・議員大会・講演会 | 五 ヶ 瀬 町 |
| | 17 | 広域連合議会運営委員会 | 日 向 市 |
| | 19 | 森林・林業懇談会 | 宮 崎 市 |
| | 20 | 日向市木材シンポジウム | 日 向 市 |
| 29 | 国道327号外整備促進要望活動 | 県 庁 | |
| 31 | 県北広域事務組合第1回会議 | 延 岡 市 | |



議会広報編集特別委員会



市郡議長会要望活動



県町村議会議員大会

随 想

「ふるさと大運動会」

田原 尚美

台風接近のため、二日遅れの平日開催となった村内三小学校の運動会。さぞかし寂しい運動会になるだろうと思いきや、七小の入場式が始まるころには地域の方々、村外から毎年欠かさず参加される方、初めてお顔を拝見する方等、大勢の皆様にご来場いただき、盛大に開催されました。

児童数14名の小規模校ではありますが、一人ひとりが一生懸命、真剣に取り組む姿に場内は感動に包まれていました。団技が始まれば来賓、高齢者、地域の方々全員が入り混じって競技に参加し、笑ったり、笑われたり、また、七ツ山小学校伝統の七小太鼓では息の合ったバチさばきを披露。ふるさと神楽ではドライアイスを導入により、幻想的な空間を演出。ふるさと大運動会を盛り上げていました。

今年は、中学生と多くの青年の方の参加が叶いませんでしたが、校長先生を初め教職員の方々、保護者の皆様の運動会にかける熱い思いを感じる事ができました。今回の運動会をとおして、七小と地域の絆の強さを改めて感じた一日でした。

また、同日開催された、荒谷小学校、諸塚小学校もそれぞれ地域の特色をいかした素晴らしい運動会であったようです。

編 集 後 記

すすきの穂が秋の気配を感じさせ紅葉で山彩る季節となりました。朝晩の冷え込みが身にこたえ、日中の寒暖差により、体調に不調をきたしやすい時季でもあります。体調管理に十分気を付けましょう。

いよいよ11月、平成30年が良い形で締めることができますよう祈念いたします。

(編集委員) 田原尚美 堀 英博 岩本國和 山本利夫

議会傍聴してみませんか？

次回の定例会は12月7日(金) 開会予定です。

心よりお待ちしております。

お問い合わせ：議会事務局

TEL 65-1130